



河の童 ユニバーサル公演 & あやかしワークショップ やっています

一都七県の小・中・特別支援学校にて

文化庁「ユニバーサル公演事業」の一環として「河の童」の学校公演が始まりました。1月18日の山口県岩国市立中洋小学校での上演を皮切りに、関東、中部、近畿、中四国地方の小中学校、特別支援学校8校を巡回中です。

公演に先立つ事前ワークショップでは、新聞紙や模造紙、リボン等を使って、子どもたちが思い思いの「あやかし」を表現。一部劇中にも登場してもらっています。



↑実際に子どもたちがつくった「あやかし」たち

近況、あれやこれや

公演

- ◆ 9月18日 宮城県仙台市で「一寸法師」を上演。
- ◆ 10月11～28日 東北・北海道の小中学校10校にて「はこ／BOXES」を上演。
(↓3か月に一度のこんには『参照』)
- ◆ 11月3～6日 大分県臼杵市・佐伯市・香川県高松市にて「一寸法師」を上演。
- ◆ 11月12日 静岡県浜松市にて「河の童」上演
(↓主催者さんから『参照』)
- ◆ 12月6～8日 長野県茅野市にて「河の童」連日上演
- ◆ 12月24・25日 埼玉県富士見市にて「百物語」上演
(↓次ページ「終了しました」参照)
- ◆ 1月11日 東京都葛飾ろう学校にて「一寸法師」上演
- ◆ 1月30日 東京都御成門小学校にて「河の童」上演
そのほか
- ◆ 11月5日 熊本県高森町にて「人形づくりWS」実施。
- ◆ 11月15日 愛知県春日井市にて
聴覚・ろう重複センター「桃のみなさんと
「高齢ろう者×アートPJ2022」の発表会を実施。
- ◆ 11月27日 NPO法人ぶかぶかによる
「銀河鉄道の夜ぶかぶか版」に参加(足立・やなせ)
(↓3か月に一度のこんには『参照』)
- ◆ その他、神奈川県、東京都の学校にて
「詩と人形のWS」「音のWS」「人形作りWS」
「榎本トオルのWS」など実施しました

主催者さんから

「河の童」浜松市公演主催 遠州みみの里とあゆむ会 会長 平良章さん

11月12日(土)浜松市福祉交流センターホールに於いて、デフ・パペットシアターひとみの「河の童(かわのわっぱ)」浜松公演が開催されました。

私たちのろう・重複障害者作業所「遠州みみの里」開設20周年記念行事として、「遠州みみの里とあゆむ会」が企画したもので、「コロナ禍で開催すら危ぶまれた中、市の内外から多くの老若男女172名の参加者を得てとても盛況でした。

「遠州みみの里」は2002年4月1日に「遠州みみの里をつくる会」の長年の活動の結果として浜松市和合町に開設されましたが、そのつくる会の活動の中でも4回浜松市での公演を行っていたとき、啓もう活動と資金獲得のため大変にお世話になりました。開設してからも2013年8月に「森と夜と世界の果てへの旅」を上演して頂きました。

この深いつながりの中、20周年の記念行事として又お招きできとても感慨深いものでした。会場で回収したアンケートは65枚、半数近い回収率で、魂を吹き込まれた人形と人間の子供との触れ合いなど、とても素晴らしい感動をみずみずしく語っていただきました。手話でも口話でもセリフの少ない構成で分かりにくいのではと心配もしましたが、小さなお子さんつまでもがきちんと理解したアンケートを書いていただいていた私たちもとてもうれしく思いました。

また機会がありましたら是非浜松へお越しいただき、また感動を共にできればと願っております。たいへんありがとうございました。

役者の「フィルム

3ヶ月に一度のこんには

やなせけいこ

表現することについて 改めて思ったこと

その1

久しぶりに、ぶかぶか(障がいのある人たちと一緒に生きていった方がいいと考え、いろんな活動をしているNPO法人です)のメンバーさんと一緒に舞台上に立たせてもらった。

これは、半年ほどの間、1か月に1回演劇ワークショップを行い、作品を一つ作り、「表現の市場」というところで発表するという企画。コロナの影響で3年ぶりになってしまったが、7回目の今年には「銀河鉄道の夜」ぶかぶか版を発表。

出演者は他にも3グループあり、太鼓やダンスや歌などを披露する。どれもみなさんからあふれてくるエネルギーがすごい。ぶかぶかのメンバーさんも、始まる前は「緊張する」と言いながら舞台上に立つと「そんな」と言ったり「つてな感じで、全身で心のままに歌ったり、セリフを言ったり、踊ったり。表現することが「楽しい」と伝わってくる。みなさんステキだ！私も同じ舞台上にみなさんのエネルギーをもらい、一緒に表現できることがうれしくて、幸せな気持ちでいっぱいになる。楽しい。そしてなぜか最後には感動して涙が出そうになる。

その2

この何年か毎年秋には「BOOXES」じいちゃんのオルゴール」という作品で学校公演をさせてもらっている。

この作品にはセリフがない。

セリフのない80分間、子どもたちはじーっと観ている。そして時々声を出して笑ったり、歓声をあげたり、舞台上に出てくるものについて隣の子とお話したり、セリフを言わない人形の代わりにセリフを言うてくれたり、両手を上にあげてひらひらさせる目でみる拍手をしてくれたり。舞台は静かだが、客席は賑やかだ。観て感じたことを身体全部で心のままに素直に表してくれる。子どもたち、すごい！

表現したことが伝わったと感じるこの瞬間、うれしくて幸せな気持ちになる。楽しい！

表現することの楽しさを改めてひしひしと感じるこの頃。私たち、いい仕事してるんじゃない。

報告

このたび、2017年からデフ・パペットシアター・ひとみの制作者として活動してきた中西優樹が退団いたしました。

退団の「あいさつ」

中西優樹

この度、2023年1月をもって退職することになりました。

デフ・パペットシアター・ひとみに入ったのは、2017年2月。ちよっとおまけして6年間在籍していた、と考えると長いような短いようなしみじみとした気持ちになります。

「河の童」を作るときにも関わらせて頂き、右も左も分からない状態でなんとか初演までたどり着いたのは、大変でしたがいい思い出です。

それまで聾者と交流したことが全くない状態で、不安な気持ちもありました。ただ、デフパペの中で聾者と関わって、一緒に笑ったり怒ったりした中で、聾者のごとを少しだけでも知ることができたのは、自分にとって人生が豊かになる良い経験ができたと思っています。

これまで公演を作る中で関わってくださったみなさん、お客さんとして来てくれたみなさん、そしてデフパペのメンバーもありがとうございました！

これからは個人としてデフパペを応援していきます。皆様も、よろしければ一緒に応援してくださいませると嬉しいです。

『百物語』富士見市公演 終演しました

2022年12月24日(土)・25日(日)人形劇『百物語』キラリ☆ふじみ公演 終演しました！

3月に神奈川県芸術劇場で初演を迎えた本作は、今回キラリ☆ふじみ版として映像美術の新保映さんはじめ新たなスタッフを迎え、再構成・再演が実現しました。また今回主催のキラリ☆ふじみによる、『百物語』関連企画として、展示やアフタートークなど、沢山の視点から楽しんでいただける仕掛けもありました。どうもありがとうございました！

人形劇『百物語』

■原作：杉浦日向子『百物語』新潮文庫刊

■出演：足立沙樹／榎本トオル／鈴木文／やなせけいこ(以上デフ・パペット)／河合祐三子／北川結(モモンガ・コンプレックス)

／高橋奈巳(人形劇団ひとみ座)／乗境

■スタッフ

構成・演出：白神ももこ(キラリ☆ふじみ芸術監督)

人形美術：本川東洋子

舞台美術・衣装デザイン：長峰麻貴(テアトリカル・イデア)

音楽：やなせけいこ 照明：伊藤泰行

映像：新保映加 音響：熊谷健

演出助手：北川結 舞台監督：土橋達也／森山香緒梨

表現監修：大杉豊(筑波技術大学) 企画協力：新潮社

企画・制作：公益財団法人現代人形劇センター

主催：公益財団法人キラリ財団



↑新たな演出も加わりました。

↑会場ではデフパペや原作『百物語』の紹介、子どもたちがつくった「こわいもの ふしぎなもの」の展示も行いました。



撮影：加藤昭裕

おしらせ掲示板

ご支援のお願い

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、デフ・パペットシアター・ひとみの上演の多くが延期または中止となり、また、依然として先行きの見えない状況が続いています。

今後の継続的な劇団活動のため、みなさまのご支援を賜りたく存じます。ご支援方法についての詳細は、デフ・パペットの企画運営を行う（公財）現代人形劇センターのホームページをご参照ください。

今後の公演・ワークショップ情報

おもな公演など

「河の童」

- ・2月20日 浜松市（静岡県）★
- ・2月27日 松山市（愛媛県）★
- ・3月5日 港区（東京都）
- ・2023年秋 東北地方にて上演予定

「一寸法師」

- ・2023年2月23日 荒川区（東京都）

「はこ/BOXES じいちゃんのオルゴール♪」

- ・2023年秋 学校公演予定

★は学校公演です。

防災人形劇「稲むらの火」

2023年

リメイク決定！！

2008年に発表し、全国のろう学校で巡回公演を実施した防災人形劇「稲むらの火」に再演出を加え、新たな防災プログラムとしてお届けします（2023.5～）

★デフパペ友の会★

デフ・パペットシアター・ひとみでは【友の会】の会員を募集しています。

- ・年会費
- 個人会員 1500円
- ペア会員 2500円

- ・特典
- デフパペ公演割引
- グッズお買いものチケット
- デフパペニュースお届け
- オリジナルお誕生日カード

◆役者募集中！◆

【仕事の概要】

全国各地での人形劇の公演・ワークショップなど

【募集要項】

- ・耳がきこえない／きこえる、問いません。
- ・手話でお話をするのが好きな方、もしくは手話に興味のある方。
- ・年齢・入団日、働きかたは応相談。

【応募方法】

プロフィール(お名前、生年月日、ご連絡先、あれば舞台経験歴)と志望動機を記載の上、劇団メール deaf_hp@puppet.or.jp までご連絡下さい。

確認後、面接日程をご連絡いたします。

また、募集に関するご質問などもお電話・FAX・メールにてお問合せ下さい。

電話 044-777-2228 / FAX 044-777-3570

皆様のご応募をお待ちしております！

メール配信のご案内

メールでのデフニュース・その他公演情報の受信をご希望の方は、お手数ですが

- ①アドレス deaf_hp@puppet.or.jp までメール
- ②ホームページのお問い合わせフォーム

のいずれかの方法にて

- ・氏名
- ・ご住所
- ・デフニュースメール配信希望の旨

を本文にご記載のうえ、お知らせください。